

	横浜市音楽研究会 研究部 器楽 部会記録				
日 時	令和4年 5月11日(水)				
部会名	研究部 器楽部会			主任	加藤 紫乃
参加数	9名	司会	加藤 紫乃	記録	上石 千鶴
研究内容	<p>研究部主題 ときめくつながる響きあう音楽学習</p> <p>器楽部会研究テーマ おんしょく 楽曲の特徴や楽曲に合った音、音色をみつけ、音や音によるコミュニケーションを通して、自分の考え方を広げ、豊かな表現を目指す器楽活動</p>				
	<p>○部員自己紹介</p>				
	<p>○今年度の研究テーマについて</p>				
	<p>1 楽曲の特徴に気づき、楽曲に合った音、音色を見付け、それが思いや意図につながっていくための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部員全員で演奏しながら、楽曲の分析を丁寧に行い、楽曲を特徴づけている音楽の要素や仕組み、楽曲にふさわしい音や音色について明確にする。 ・明確にした楽曲を特徴づけている音楽の要素や仕組みと子どもの学習経験を照らし合わせ、子どもたちがどのような思いや意図をもつか予想し、子どもたちにつけたい力を明確にする。 ・学習を通して身に付けたい力が身に付くような、授業計画、支援について考える。 				
	<p>2 音や音によるコミュニケーションを通して、自分の考えが広げられる支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが課題や疑問を音や言葉を通して解決したり、新たに発見したり、発見したことを自分に生かしたりしていけるような授業場面の工夫について実践提案を通して考えていく。 ・学習形態に関わらず、子どもたちが自分の経験や技能、感性を生かして友達と関わり、それによって自分の考えや表現が広がったり、深まったりできるような教師の声のかけ方、授業のつくり方について実践提案を通して考えていく。 				
	<p>3 思いや意図に合った表現を目指していくための支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の縦と横がそろい合奏が合ってきたとき、楽曲の特徴や思いや意図を意識しながら合奏を楽しんでいくための手立てについて実践提案を通して考えていく。 				
	<p>※ミュージック7（セブン）について</p>				
	<p>○年間活動計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミュージック7（提案者） 7月・・・藤の木小 杉山先生 9月・・・谷本小 南澤先生 1月・・・保土ヶ谷小 廣井先生 3月・・・馬場小 光益先生 ・実践提案（提案者） 洋光台第二小 山下先生 原小 萩原先生 				